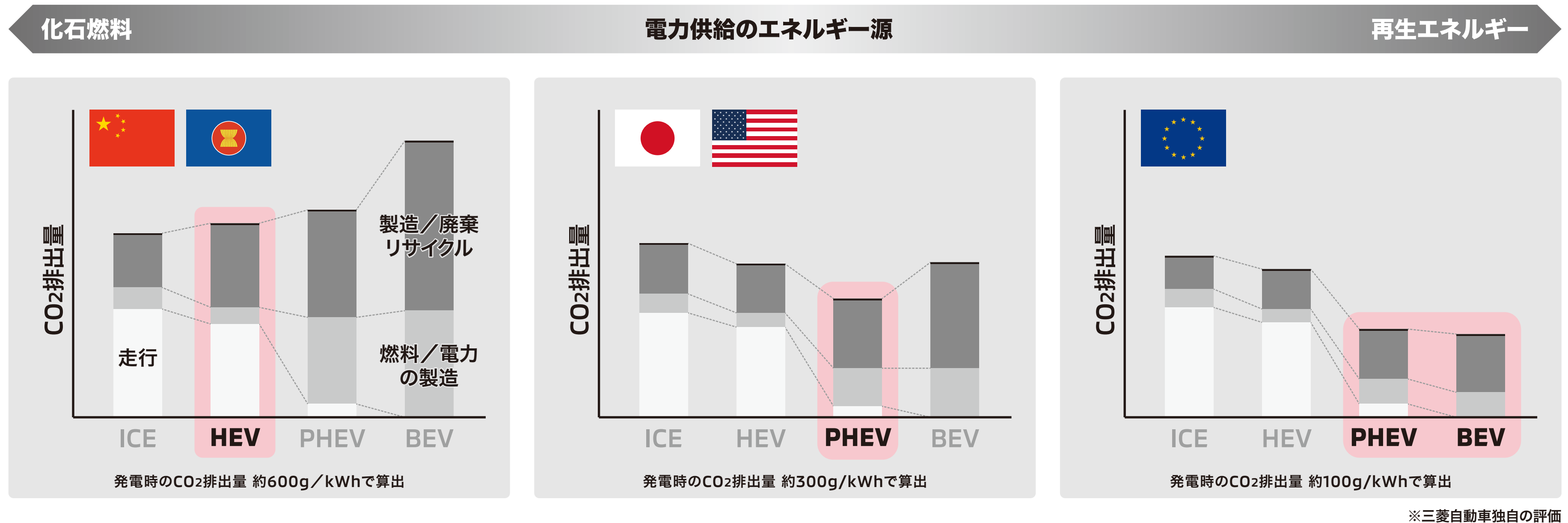


電動化技術

三菱自動車の電動化推進の考え方

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、ライフサイクルでのCO₂排出量の削減を、PHEVをコア技術として地域&お客様ニーズに応じた電動化で推進しています。

Point 1：クルマの製造や電力の製造まで考えたライフサイクルでCO₂を削減



Point 2：PHEVをコア技術として地域事情やお客様ニーズにあった電動車を提供



発電時CO₂の削減・充電環境の整備・バッテリー価格の低下

カーボンニュートラル燃料の普及

三菱自動車らしい電動車を支える次世代PHEV技術

eパワートレイン

高い信頼性と低コストの両立

過酷な環境でも走り続けるタフなモーター

→ 冷却強化、構造改善による連続性能の向上

電動化システムコスト低減

→ システム合理化&最適化、レアメタルの使用量低減

内燃機関

ニアゼロエミッション

大気並にクリーンな排気で大気質改質に貢献

→ 排気浄化システムの性能向上と低コスト化技術

カーボンニュートラルに貢献する高効率エンジン

→ カーボンニュートラル燃料対応技術

熱&エネルギーマネジメント

過酷な環境でも性能を最大限に引き出す

寒冷地域・酷暑地域においても安心できる性能

→ 室内空調を含めた車両統合熱マネジメントの改良

車両走行状態、バッテリー充電状態に応じたHEV制御

→ リアルタイムでエネルギーマネジメントを最適化

バッテリー

エネルギー密度の向上と低コスト化

バッテリーパックのエネルギー密度向上

→ 搭載効率の向上、電気回路部品の小型化

バッテリーパック構造改善によるコスト低減

→ 組立て構造の簡略化、構造部品点数の削減